

ICTニュース～風疹について～

院内感染対策委員会

2018年10月号

風疹って??どんな感染症? 飛沫感染を主とします。

発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症である。

症状は不顕性感染から、重篤な合併症併発まで幅広く、臨床症状のみで風疹と診断することは困難な疾患である。

風疹に感受性のある妊娠 20 週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、出生児が先天性風疹症候群を発症する可能性がある。

症状は?



検査

急性期の咽頭ぬぐい液、血液、尿から風疹ウイルス遺伝子を RT-PCR 法、リアルタイム RT-PCR 法等の方法で検出する方法が最も早期診断に有用であるが、実施可能な機関は一部の研究所や大学等に限定されている。

血清診断は健康保険適応になっており、一般的に最も多く用いられている。赤血球凝集抑制反応 (HI)、酵素抗体法 (ELISA) が代表的である。

5 類感染症 全数報告

治療

対症療法

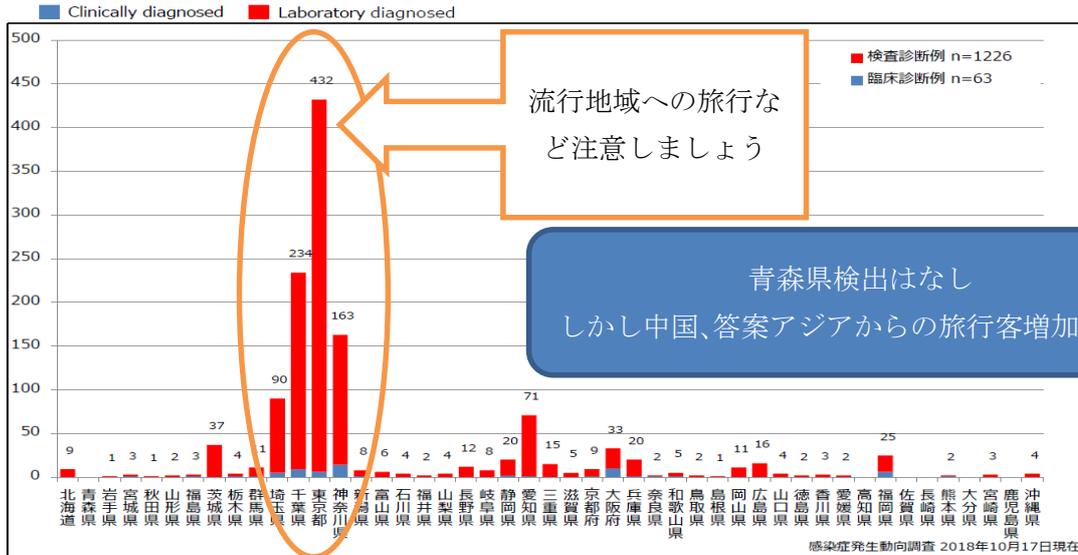
就業制限

あり 発疹発症消失まで または解熱後など発症の状況で解除

発生状況

4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2018年 第1~41週 (n=1289)

Cumulative rubella cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-41, 2018 (as of October 17, 2018)

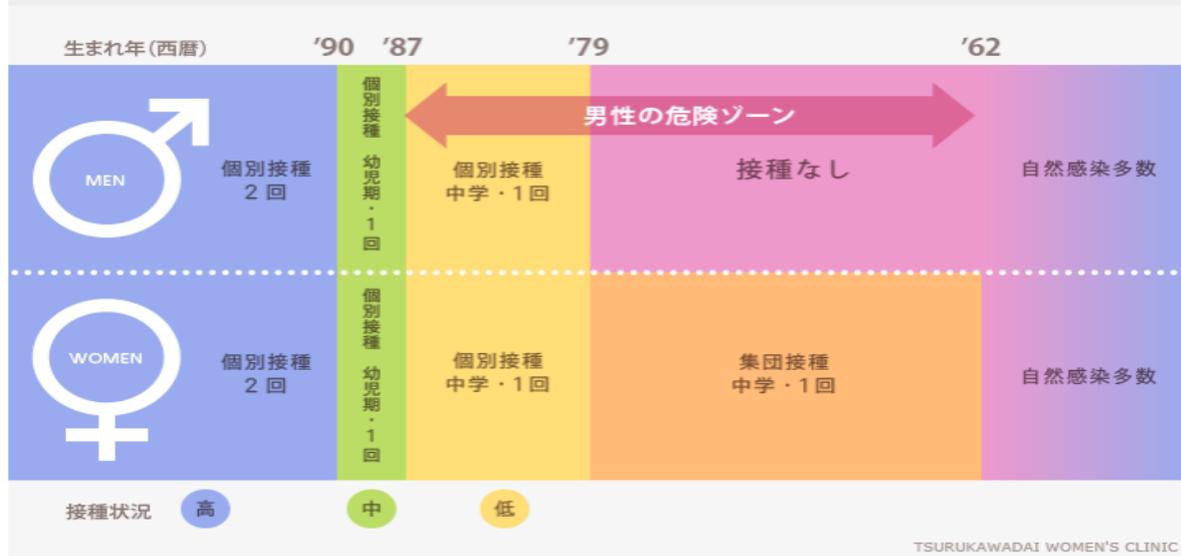


注意すべき年代

男性：30～40歳後半までの発生が多いです。

女性：20～40歳後半までの発生は多いです。

生まれ年で見える風疹ワクチンの接種状況



年代によって指針がコロコロ変わったため接種を受けたかどうかは非常に分かりにくくなっています。三種混合ワクチン (MMR) を接種している人もいます。

- **1962年4月1日以前生まれ (不要)**
定期接種はありませんでしたが、大半の人が自然感染で免疫を獲得しています。
- **1962年4月2日～1979年4月1日以前生まれ (男性は要抗体検査)**
男性は定期接種はありません。女性は中学生の時に1回、集団接種を受けています。
- **1979年4月2日～1987年10月1日生まれ (抗体検査推奨)**
男女とも中学生の時に1回、個別接種*を受けることになっていましたが、接種率は高くありません。
- **1987年10月2日～1990年4月1日生まれ (抗体検査推奨)**
男女とも幼児期に1回、個別接種を受けることになっています。
- **1990年4月2日以降生まれ (不要)**